



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年12月19日

我孫子市小中一貫教育だより
第400号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だいしょ」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子どもも
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子どもも
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子どもも

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

命でつなぐ我孫子中区カリキュラム～二小・2年生 「わたしの町はっけん準備」

我孫子第二小学校の2年生が、生活科の学習で「町たんけんに行くために気を付けることは何だろう」という安全学習を行いました。学区にある道路の写真を提示され、気が付いたことを発表しました。普段見慣れている風景でも、「安全」という視点から考えると、子どもたちはいろいろなことに気が付きました。標識や横断歩道、さらにはガードレールなど、自分の身を守るためにたくさんの工夫があることを発見し発表しました。

また、子ども110番の表示がどこにあるか、自分の通学路を想起して、利用したことがあるかどうか、口々に話し合っていました。



まとめに、町たんけん当日に気を付けるべきことについて全員で考えました。「まいごにならない。」「車や自転車に気を付ける。」「グループで行動する。」など、子どもたちは町たんけんに行くルールを決めて、安全に学習ができるように準備することができました。

未来に残してつなぐ ふさ プロジェクト～布佐小・6年「職業人講話」

布佐小学校6年生が総合的な学習の時間でオリジナルカリキュラムに位置付けた「職業人講話」を行いました。職業人講話の講師の方々は皆さん保護者ということで、地域の方、身近な方から職業について話を聞くことができる機会となりました。協力体制が素晴らしいと思いました。

8つの職業ブースには、警察官・免税店員・大工・CA・医療従事者・介護職員・保険会社職員・コンビニエンスストア店員の方がいてくださいり、児童たちは4人グループで順にブースを回りました。

大工のブースでは、実際に大工道具を見て触って体験して職業についての理解を深めました。「かんながけ」は、ふわっと香る木材の香りを感じながら、とても力のいる作業であることが分かりました。コンビニエンスストア店員のブースでは、「賞味期限の管理はどのようにしていますか。」「一日の電気代はいくらですか。」など身近なコンビニがどのように運営されているのか疑問に思っていたことをどんどん質問していました。CAのブースでは、「ドラマであるような機内でお医者様を呼ぶことって本当にありますか。」の質問に「ありますよ。」の回答が返ってきた瞬間、一同驚いた表情



をしていました。「お客様は外国人も多いですか。」「円安の影響で海外からの観光客が増えています。一方日本人の乗客は減っています。海外出張などリモートで済むようになり利用が減っていることも影響しています。」など職業を通して社会の動きを知る一面もありました。

保護者の方々の協力を得て、幅広い職種の従事者のお話を聞く機会となりました。身近な人からの話だからこそ「働くこと」をより「自分ごと」としやすい学習だったと思います。キャリアについて考えを深め、来年度、中学生でのキャリア学習につなげる効果的なものであったと思います。